

【報道関係各位】

三谷産業株式会社  
2019年8月20日

## 社員の子どもを対象に「科学教室」を初開催 - 17名が参加し、3種の実験を通して科学の面白さに触れました -

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、8月19日（月）、金沢本社において、当社グループ社員の小学校4～6年生の子どもを対象に、さまざまな実験を通して科学の面白さに触れられる「科学教室」を開催し、17名の子どもが参加しました。

三谷産業では毎年、小学校の夏休み期間中に社員の子ども（小学校5年生）を対象として職場見学会を開催していますが、今回初めての試みとして、当社の事業の知見を活かして科学教室を開催し、より踏み込んだ体験学習の場を提供しました。子どもたちに知的好奇心を育んでもらうとともに、お父さん・お母さんの働く会社への親しみを感じていただけることを目的としました。

教室では当社ケミカル事業部の社員が実験を指導し、子どもたちは次の3種の実験を行いました。

- **手作りスーパーボール☆** …洗濯のりと食塩水を使ってスーパーボールを作成
- **つかめる水！？** …2種類の化学品の混合により薄膜が作られ、手でつかめる水を形成
- **ペーパーブーメラン** …紙にビニールテープで重しをつけてブーメランを作成



実験方法の説明を真剣に聴く子どもたち



「つかめる水」に子どもたちは興味津々

教室に参加した子どもたちからは、「つかめる水は膜が張っていてすごい」「家でも実験をやってみよう」などの声が寄せられました。

また実験の指導を担当したケミカル事業部の渡邊敬太社員は、「実験を通じて、子どもたちが主体的に疑問をもって科学を楽しんでいただけると嬉しいです。また科学をきっかけに、実社会において多角的に物事を捉え、抽象化して考えられるようになることを期待しています」とコメントしました。

今後は8月21日（水）にも東京本社において、同内容の科学教室を開催する予定です。

三谷産業は、社会の一員として良識を持ち、責任ある活動を行い、社会の発展や豊かさに貢献することを、企業の使命であると考えています。今後も、今回の科学教室をはじめ次代を担う子どもたちの健やかな成長に寄与する機会を創出するとともに、さまざまな形で社会に貢献できるよう努めてまいります。

### < 本件に関するお問い合わせ先 >

三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部  
TEL： 03-3514-6003